

# Weekly Report

事務局：460-0003

名古屋市中区錦1-13-19

名錦ビル7F

TEL: 052-211-3803

FAX: 052-211-2623

MAIL: 2760\_nagoya@mizuho-rc.jp

URL: http://www.mizuho-rc.jp/

創会 立：1980年(昭和55年)1月10日

幹 長：亀井 直人

例 事：鳥山 政明

会 務 委 員 長：杉山 裕一

例 日：毎週木曜日 PM12:30～

会 場：ヒルトン名古屋

2025-26年度

名古屋瑞穂ロータリークラブ

会長のテーマ

「瑞穂ロータリーを理解し、そして楽しむ!」

2025-26年度

国際ロータリーのテーマ

よいことのために手を取りあおう

## 第2162回例会

～平和構築と紛争予防月間～

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2026年2月26日(木) 晴 第26回 職場例会

司 会：萩原孝則 職業奉仕委員長

### 会長挨拶

亀井直人会長

皆さん、こんにちは。今日は、ご存知とは思いますが、七里の渡し、宮町について話したいと思います。東海道七里の渡しとは、江戸時代における東海道の重要な海上区間であり、現在の愛知県熱田(宮宿)から三重県桑名市桑名(桑名宿)までを結んでいた渡船路であります。距離が約七里(およそ約27キロメートル)あったことから「七里の渡し」と呼ばれました。



東海道は、江戸から京都に至る五街道の中でも最も交通量が多い幹線道路であり、参勤交代の大名や公家、商人、庶民など多様な人々が往来しました。通常、街道は陸路で整備されていましたが、宮宿と桑名宿の間には伊勢湾が広がっており、これを陸路で迂回すると大きく遠回りになるため、海上を直接渡る航路が公式に整備されました。

七里の渡しは、時間短縮のうえでも大きな役割を果たした。しかし一方で、天候に左右されやすく、強風や高波の際には欠航することもあり、そのため旅人は宮宿や桑名宿で足止めされることも多く、宿場町の繁栄にもつながりました。

この航路の両端には「渡し場」が設けられ、船問屋や船頭が公的な管理のもとで運営を行っており、運賃や運航規則は幕府によって定められ、秩序ある交通が維持されました。宮宿は東海道の宿場町の一つで、五十三次のうち四十一番目にあたる重要な宿場であり東海道最大級の規模を誇った宿場として知られていました。

宮宿の名は、熱田神宮に由来します。その門前町として発展した宮宿は、単なる交通の中継地にとどまらず、宗教的中心地としても重要な役割を担っており、お伊勢参りや京への往來の途中に参拝する旅人も多く、常に活気に満ちていたそうです。規模の面でも宮宿は突出しており、本陣や脇本陣、数多くの旅籠が軒を連ねていました。

特に尾張藩の城下町である名古屋に近いこともあって、大名の宿泊や休憩も頻繁に行われました。参勤交代の一行が通過する際には、宿場全体が緊張感に包まれたということです。明治以降、鉄道の発達とともに宿場としての役割は終わりましたが、現在でも熱田神宮の門前町としての面影は残り、史跡や碑が往時を偲ばせます。宮宿は、信仰と交通、商業が結びついて発展した東海道屈指の宿場町であり、近世都市の姿をよく伝える存在であります。

この伊勢久さんもそうですが、瑞穂RCにもたくさんいる宮宿会のメンバーが熱田を盛りあげ、賑わいを取り戻そうと素晴らしい活動をしています。これからも頑張ってください。当初この伊勢久での職場例会の開催を鈴木叔久さんは固辞されていたそうですが、職業奉仕委員長の萩原さんの強い押しで実現しました。ありがとうございます。

今日は暫しの間大名気分を味わって下さい。

### 幹事報告

鳥山政明幹事

- 2/27(金) 在籍3年未満会員の研修会  
研修会: 16:30～ 懇親会: 18:00～  
場 所: あつた蓬萊軒松坂屋店  
別途対象者へはご案内済ですので、不明点ありましたら事務局までお願いします。
- 3/5(木) 当クラブのチャーターメンバーで第12代会長の「高村博三さんお別れの会」へ、例会変更としました。  
時間: 14:00～15:00  
場所: 名古屋観光ホテル3F「那古の間」  
※ご家族より、香典・供物・供花は、固くご辞退されております  
※「ご来臨の際は平服にてお越しください」との記載あり  
※別途、個別にご案内のある方は、そのご案内の時間に吊問頂ければ結構です
- 3/12(木) R規定により休会  
※メイクアップについて、他クラブの情報をHPの「お知らせ」内の各月例会予定内に追記しています。ご活用ください。

### 職場例会

伊勢久：鈴木叔久さん

皆さん、こんにちは。本日は、寒い中お越しいただきありがとうございます。かつて東海道で最大規模を誇った「宮宿」に唯一現存する旧脇本陣、「伊勢久」の再生プロジェクトについてお話しさせていただきます。

築250年もの歴史を持ち、先の激しい空襲を奇跡的に免れた大変貴重な建物です。ところが、「名古屋市での保存も難しく、このままでは取り壊されてしまう」と伺い、「なんとかこの歴史的な建物を後世に残さなければ」と、引き継ぐ決意をしました。

でも、いざ中を見せていただいてビックリで、長い年月の間に、中がアパートのように細かく改造されていたんです。専門家の先生方からも「一度全部解体して組み直さないと残せない」と言われてしまいました。現代の建築基準法や耐震基準をクリアしつつ当時の姿を残すため、現場は職人さんたちと試行錯誤の連続。使える古い瓦はそのまま活かし、実に3年以上の歳月をかけて元の美しい姿へと復元させました。

建物の奥には、中山道との分岐点にあった立派な道標を移設するなど、歴史のロマンを感じられる中庭も作りました。そして何より胸が熱くなったのは、約30年間も止まっていた「時の鐘」の復活です。地域の方々にご理解いただき、再び町に鐘の音が鳴り響いた時は本当に感動しました。

現在は、1階を喫茶店、2階を日本料理店、夜はバーとして皆さんに楽しんでいただける場所へと生まれ変わりました。まさか50歳を過ぎて喫茶店やバーのマスターをやるとは思いませんでしたが、今は一生懸命修行中です。この歴史ある空間を大切に守り、地域の賑わいの拠点として皆さんと一緒に盛り上げていきたいと思っています。



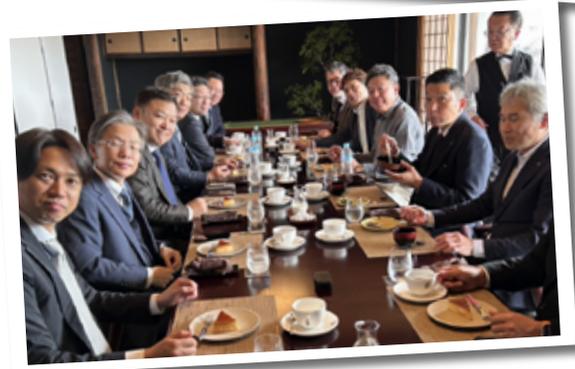
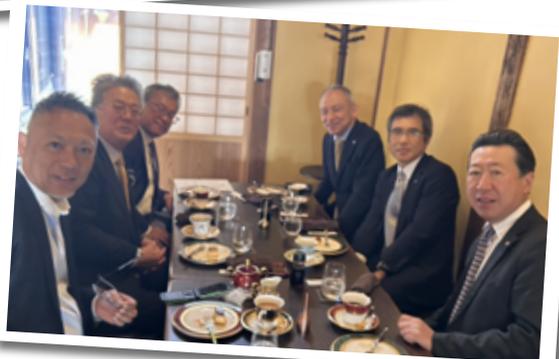
### 出席報告

長谷川隆 出席委員

会員69名 出席45名 (出席計算人数58名)

出席率 75.00%





### 例会のご案内

- 今 週 3月5日 (木) 高村さんお別れ会  
場 所：名古屋観光ホテル3F 那古の間  
時 間：14:00～15:00
- 次 週 3月12日 (木) R規定により休会
- 次々週 3月19日 (木)  
場 所：ヒルトン名古屋4F「桜の間」  
時 間：12:30～13:30  
卓 話：(株)アクラム代表取締役 河崎悠有様  
「逆境力、困難こそが成長の機会」